

ACTION

アクション REAR VIEW

リアビュー



※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

DETAIL



XM-X1 クロスボーン・ガンダム X1

XM-X1 クロスボーン・ガンダム X1は、コミック作品「機動戦士クロスボーン・ガンダム」に登場するプロトタイプMSである。U.C.0133年。およそ10年前に内部分裂によって崩壊したはずのC-V(クロスボーン・バンガード)が復活していた。しかも、木星圏を拠強に輸送艦などを襲う“海賊”として。そんななか、交換留学生として同惑星たちと共に木星圏を訪れたトビア・アロナクスは、ひょんなことからC-Vに身を寄せることとなる。新生C-Vの真の目的は、人知れず地球侵略作戦を推し進める木星帝国(ジュビター・エンパイア)の野望を阻止することだったのだ。交換留学生制度も侵略作戦の一環であり、偶然、その一端を垣間見たトビアは、真実を見極めるため戦いに身を投じることを決意したのである。

それから数日後、C-Vの母艦マザー・バンガードは救難信号を傍受する。キングドムの思いつきでX1に搭乗し、3機のソンドーグとともに黒煙をあげる輸送船に接近したトビアに古夢のウモンが叫ぶ。「いっかんっ! トビアっ、はなれるっっ!!」その時、ビーム・アックスで船の外壁を切り裂きながら奔るような異形のMSベズ・バタラが無数に飛び出してきた。標的はC-Vの母艦マザー・バンガード!! 輸送船の救難信号は真だったのだ。さらに、急ぎ帰艦しようとするトビアたちの前に、強力なビームを放つMAカンクリジオが立ち上がる。ザビーネがX2で、キングドゥは予備のコア・ファイターで出撃する。しかし戦いに慣れないトビアはカンクリジオの巨大なクローに捕らわれてしまった。「トビアっっ!!、ドッキング・アウトしろっっ!!」瞬く間にパイロット交代を果たしたX1は咆哮をあげるや、見逃さるような身のごなしでカンクリジオを撃破する!!

※画像はイメージです。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基色をご確認ください。	●本体等ホワイト部:	●本体等紺色部:	●本体等レッド部:	●関節等グレー部:	●アンテナ等イエロー部:
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。	ホワイト(100%)	ブルー(50%) +パープル(40%) +ブラック(10%)	モンザレッド(100%)	グレー(90%) +ブラック(10%)	オレンジイエロー(60%) +ホワイト(30%) +イエロー(10%)
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。	●武器等グレー部:	●バーニア グレー部:	●センサー グリーン部:	●コアファイター キャンピー部:	
	グレー(50%) +ホワイト(50%)	ネービーブルー(100%)	ホワイト(70%) +ディナググリーン(30%)	下地にシルバー(100%) +スモークグレー(100%)	

XM-X1 CROSSBONE GUNDAM X1

S.N.R.I. PROTOTYPE MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : XM-X1
HEAD HEIGHT : 15.9m
WEIGHT : 9.5t
TOTAL WEIGHT : 24.8t
GENERATOR OUTPUT : 5,280kw
THRUSTERS TOTAL PROPULSION : 25,000kg×4 (MAX 30,000kg×4)
MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY & HIGH CERAMIC COMPOSITE
ARMAMENTS :
VALCUN GUN
BEAM SABER
HEAT DAGGER
BRAND MARKER (BEAM SHIELD)
ZAMBUSTER (BEAM ZAMBER / BUSTER GUN)



1/144 SCALE

HG UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

BANDAI

0193828

XM-X1 CROSSBONE GUNDAM X1

「XM-X1 クロスボーン・ガンダム X1」は、U.C.0123にコスモ・バビロニア建国戦争を引き起こしたクロスボーン・バンガード(C-V)が、木星帝国(ジュビター・エンパイア)と戦うために調達したMSである。“コスモ貴族主義”を掲げたC-Vは、建国宣言から間もなく内部分裂によって事実上崩壊したものの、“コスモ・クルス教団”や組織の一部は依然として多くの支持者を得ており、本機を運用する新生C-Vは、彼らからの支援や便宜を得るために敢えて“C-V”を標榜している。その真の目的は、木星帝国の巡らす陰謀を阻止することにあった。新生C-Vへの協力を決定したサナリイ(S.N.R.I.= Strategic Naval Research Institute〜海軍戦略研究所〜)は、他惑星(特に木星)宙域への本格的な進出を前提とした機体を開発し、並行して新機軸の装備や武装も調達している。サナリイにおける本機の開発時の形式番号は「F97」だが、C-Vへ譲渡の際、製造元を秘匿するため、機体番号の「XM-X(不明)」への変更や、“海賊”をモチーフとした意匠や装飾も現地で施された。初期に配備された2機(X1、X2)のスペックは機体色とアンテナ形状、武装以外ほぼ同一である。本機の最大の特徴は、F90ⅢY クラスタースターガンダムに準じたコア・ブロックシステムの採用と、背部に装備された4基のメインスラスタユニットがX字型に展開するブースターユニットである。このブースターは、木星圏の高重力に対応すべく開発されたもので、当時のMSの標準的な機体重量を保ったままでの超高速機動化を達成している。本機はU.C.0133における最強の機体と評されることもあるが、その挙動や武装の特殊性などから乗り手を選ぶ機体となっている。そのため、クロスボーン・ガンダムが真価を発揮するが否かは、あくまでパイロットの技量にかかっているのである。

ビーム・サーベル

近接戦闘用の標準的な新撃装。コア・ファイターが装備するビーム・ガンユニットが、合体時にボディ上面に回り込んでそのままガンダム本体の肩口に収納されている。もちろんコア・ファイター形態時にも使用可能。



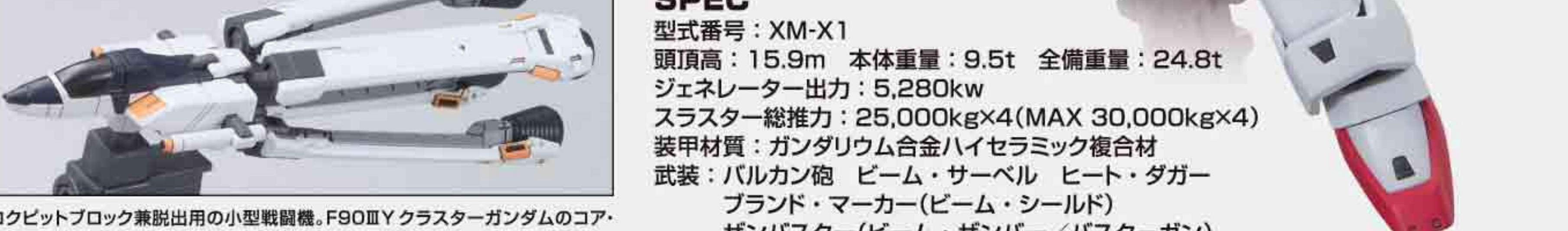
ブランド・マーカー／ビーム・シールド

四角錐型のビームを形成して焼きこめるように敵機装甲を焼灼するほか、ビーム・シールドの展開も可能。この場合、ビームがその頂点から四方に展開し、ユニット自体は防弾面の内側へ完全に隠れるため、既存のビーム・シールドより防弾能力に優れている。大気圏突入時にはバリエーション的な転用も不可能ではない。



ザンバスター(ビーム・ザンバー/バスターガン)

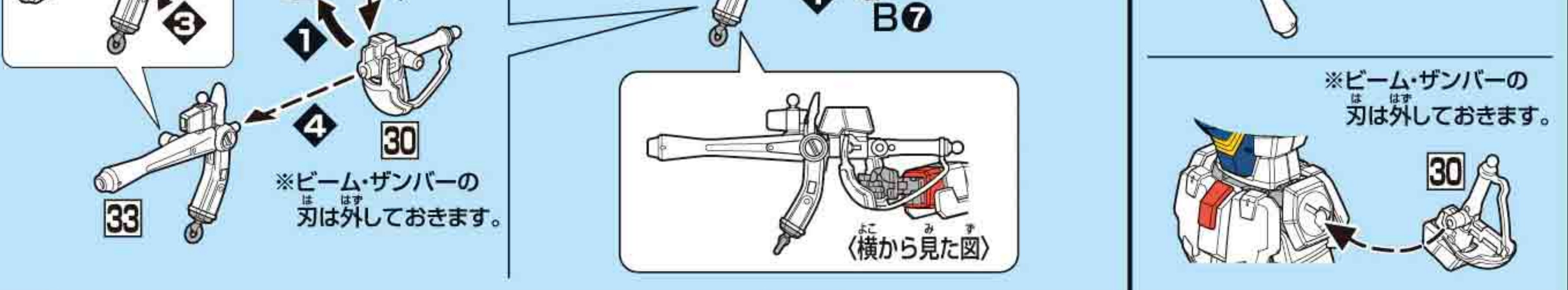
通常の機体ではビーム・ライフルに相当する装備を分離してピストルとサーベルとしても運用できるようにした装備。ビーム・ザンバーのビーム刃は縦方向に粒子を偏向加速させることでビーム・シールドごと敵機を切り裂くほどの威力を発揮する。名称の由来は“斬馬刀”。



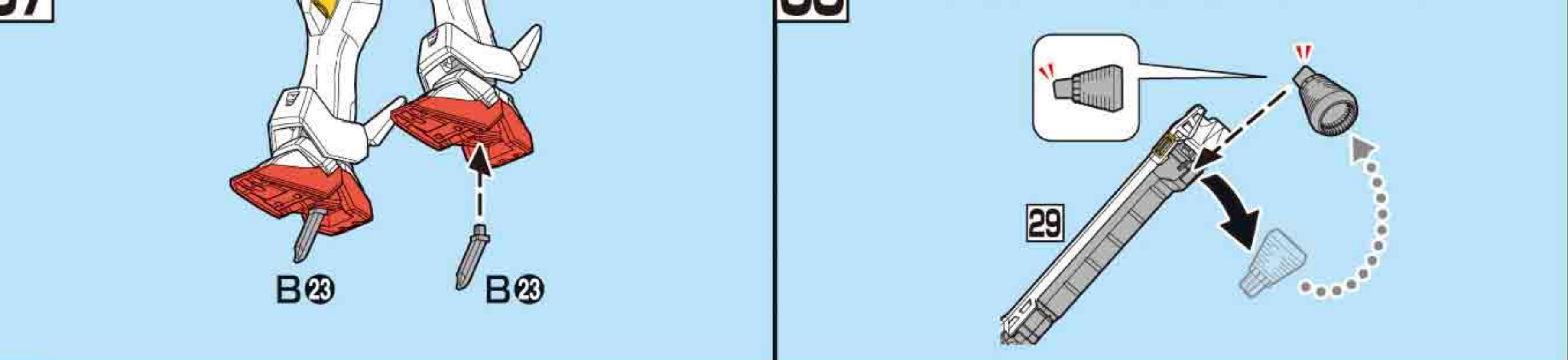
コア・ファイター

コクピットブロック兼脱出用の小型戦闘機。F90ⅢY クラスタースターガンダムのコア・ファイターに準じたメインブロックと木星圏宙域の高重力に対応した大推力のスラスターおよびビーム・ガンを装備している。

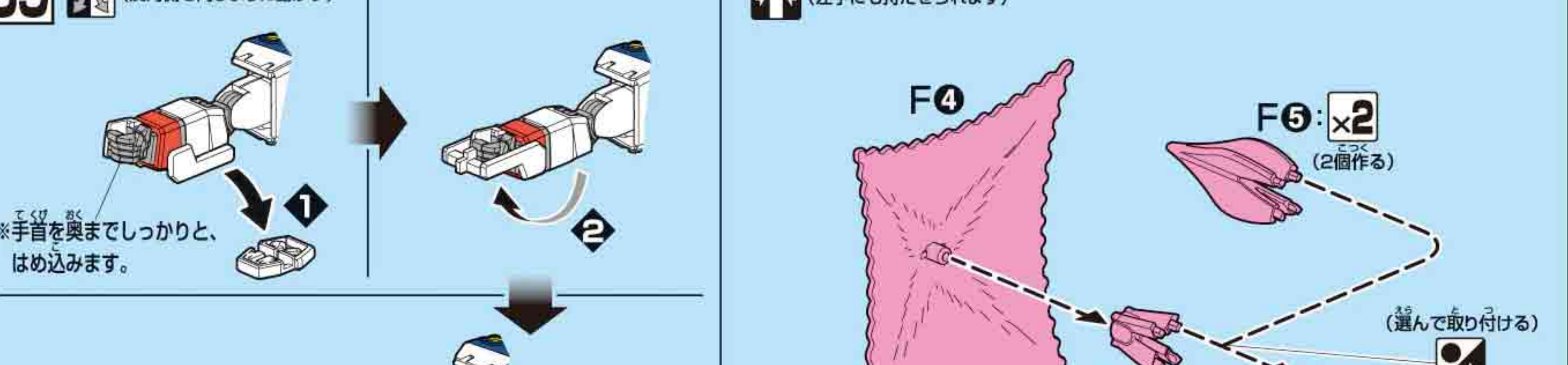
35



36



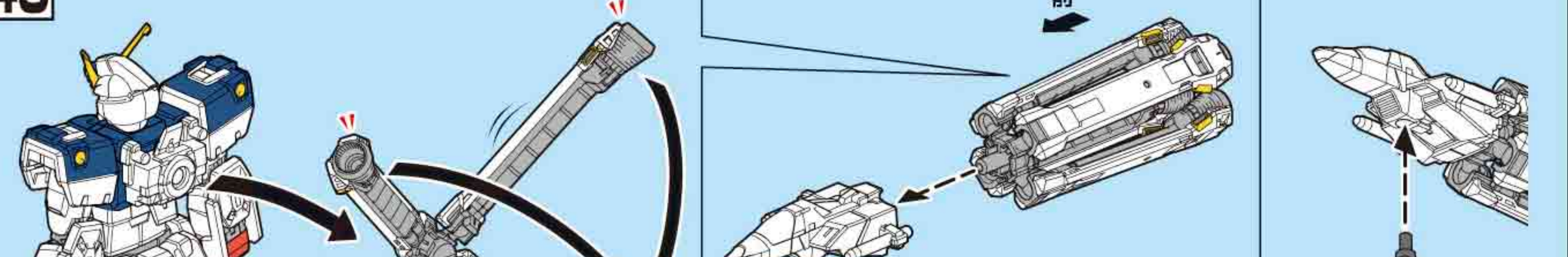
37



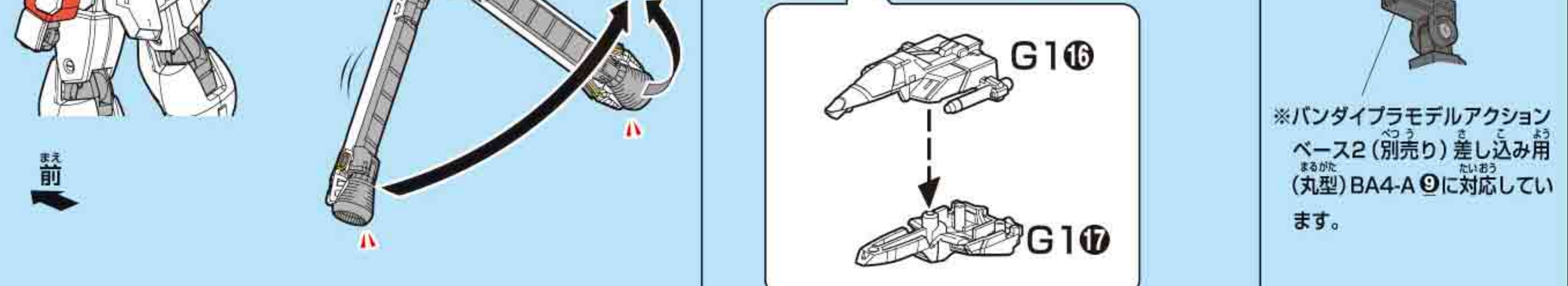
38



39



40



※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。 ※データは劇中の設定です。